横浜市阿久和小学校
Akuwa elementary school in Yokohama city

学校だより

令和６年２月２９日
校長　荒井　智津子

３月号

学校教育目標　「みんなかがやけあくわっ子」
～自分らしく輝く子の育成をめざして～　夢の実現に向かって行動する子
あいさつから輪を広げる子　くふうして学び続ける子　わたしもあなたも命を大切にする子

阿久和小学校　ラスト１か月

校長　荒井　智津子

阿久和小学校４２年間の歴史の幕を閉じる３月２５日まで残り２５日。子どもたちが登校する日数は、１６日（６年生は１２日）となりました。地域や卒業生、保護者の皆様から親しまれ、愛され、惜しまれて学校を閉じることができることを改めて感謝申し上げます。

ラスト１か月の過ごし方をいろいろ考えましたが、普段通り、一人ひとりの子どもの顔をしっかり見る、声をもらさず聞く、今まで続けてきたそんな「当たり前」を最後まで続けることが一番大切なのかもしれないと思います。

【阿久和小の良さ】
- 給食の残量がとても少ない。
  （今年度の残量０日は、2/22 現在４４日）
- 靴や上履きが靴箱にきれいに揃って入っている。
- 傘が縛って傘立てに入れられている。
- どの学年も、約束事を守り落ち着いて学習している。
- 一人ひとりに「自分の好きな場所」がある。
- 昼の校内放送がおもしろい。
- 学校に芝生やロケット公園があり、みんなが元気に遊んでいる。
- 校舎の中も外もとてもきれい。
- 職員が子どもたち全員の顔と名前を知っている。
- ぽかプラ、子ども食堂、キッズ、自治会、松陽高校、隼人高校、いずみ野中など広く地域とつながっている。

２月９日（金）　第８回学校運営協議会が開かれました。令和４、５年度は阿久和小といずみ野小の合同学校運営協議会でしたので、回数も委員の人数も多く、互いの学校を理解するうえで実りのある２年間だったと感じています。最後に委員の皆様からお一人ずつお言葉をいただく中に、次のような嬉しいお話がありました。

「子どもたちの交流が進み、楽しく過ごしていることがわかって何より嬉しい。」
「大人の環境づくりが大切であることは確かだから、子どもたちが興味をもって楽しく過ごせるような環境を４月から作っていこう。」
「どちらの学校も『あいさつ』が課題であるのなら、地域を巻き込んで、大人も子どももみんなであいさつを交わし合うことができるような学校にしていこう。」
「阿久和小の子どもたちの通学路が長くなることが心配だが、高校生も登下校の小学生に対して、目配りや気配りをするように声をかけていきたい。」
「今回の統合は、阿久和小・いずみ野小どちらも閉校し、新しい１つの学校を創っていくという意識をもつことが大切である。２年間の学校運営協議会を経て、今実感している。」

希望と夢を抱き、新しい未来に自信をもって一歩を踏み出せるように、ラスト１か月を丁寧に大切に過ごしていきます。